



ロータリー：  
変化をもたらす

RI イアン・ライズリー会長テーマ

# Weekly 2017-'18 Report

16

2017/11/22

クラブ会長テーマ 奉仕を通じて、みんなが輝こう！

## 第 2343 回例会報告

日 時：平成 29 年 11 月 15 日 (水)

会 場：例会場

司 会：SAA

稲村委員

開会点鐘

小澤 (谷) 会長

斉 唱：ロータリーソング「奉仕の理想」

お客様の紹介

小澤 (谷) 会長

中島 孝昌様 東京立川 RC

永見 理夫様 国立市長 (卓話講師)

会長報告

小澤 (谷) 会長

本日の卓話講師の永見市長様の公務が入られまして、30 分早く例会を開始することになり、会員の皆様にはご理解をいただきまして多数参加をいただきまして、ありがとうございます。

また、市民祭りのイベントも盛況に行われました。私が驚いたのは、開会している間だけではなく、片付けの時にも多くの会員の方が残って、皆様のご協力にびっくりいたしました。

8 日に当クラブの歴代会長会が行われ、今の現状等をご報告いたしまして、今後についてもアドバイスをいただきました。今後に役立てたいと思っております。

来日生のインさんが 12 日から鈴木さんのお宅でお世話になっております。また、12 月 5 日に当クラブの会員で活躍されている方々を応援する会を行いますので、是非多くの会員の方の参加をいただきたいと思います。



▲ 秋の色 (国立市の木々の葉を集めたものです)

## 幹事報告

寺澤幹事

● 18-19 年度 多摩中グループ協議会

日時 12 月 4 日 (月) 18 時

場所 立川グランドホテル

● 第 41 回 塞の神どんど焼き実行委員会

日時 11 月 24 日 (金) 19 時

場所 谷保天満宮

出席 関 (俊) 社会奉仕委員長

\*以降、開催日の 1/8 まで数回開催されます

## 委員会報告

● 市民祭の参加 北島 (清) 社会奉仕副委員長

市民祭ではご協力ありがとうございました。ポリオ撲滅の募金は 24,662 円でした。会長・幹事をはじめ多くの会員の方にはテントの方に差入をしていただきまして、ありがとうございました。関委員長が所要により本

RI 第 2750 地区 多摩中グループ

Rotary



東京国立ロータリークラブ

会長 小澤 谷守

幹事 寺澤 武

例 会 日：毎週水曜日

例 会 場：谷保天満宮社務所 2 階 東京都国立市谷保 5209

事 務 所：東京都国立市谷保 5234-1 TEL:042-575-0770 FAX:042-572-8666

E-MAIL：kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp WEB：http://kunitachi-rc.com/

会報委員：青木 健・平川 貴浩・岡本 貞雄・秋廣 道郎

日欠席のため、代理で報告・御礼をさせていただきました。

●次週の卓話について 近藤プログラム委員長  
11月22日の卓話は、このほど文化財に指定された本田家のことをよく知っていらっしゃる学芸員の浜中秀子さんをお招きしています。

**ニコニコBOX** 山岡親睦活動委員

●小澤谷守会長 永見国立市長様には、お忙しい中本日の卓話をお引き受けいただきありがとうございます。何卒宜しく御願いたします。今月5日の市民祭りには、社会奉仕委員会はもとより、多くの会員に参加をいただき、当クラブのイベントも盛況に行われました。ありがとうございました。

又、今月12日より、交換留学生インさんが、ファーストホストファミリー長嶋会員からセカンドホストファミリー鈴木会員に引き継がれました。長嶋会員ありがとうございました。鈴木会員にはこれから3ヶ月宜しく御願いたします。

●寺澤幹事 永見市長、本日はお忙しい中ご来訪いただき誠にありがとうございます。国立の歴史又未来についての卓話、楽しく拝聴させていただきます。

●小澤孝造会員 永見市長さんの卓話楽しみです。

●五十嵐会員・杉田会員・関重寿会員・秋廣会員・木島会員 今日卓話楽しみにしています。これからの市制、よろしく御願申し上げます。

●時田会員 永見理夫市長のご来会大変歓迎致します。5日の市民祭にて恥ずかしながら国立市より教育文化功労として表彰されましたのでニコニコさせていただきます。

●吉野会員・内山会員・岡本貞雄会員 永見市長には平素市政にご尽力下されご苦労さまです。本日お話し下さる「国立市の過去・現在・未来」で、特に国立市の未来をどうお考えなのか伺います。楽しみにしております。

●遠藤常臣会員 国立市長 永見様の行政卓話楽しみに

しています。

●本間会員 国立市長 永見様、市政についての卓話よろしく御願いたします。明日、市政報告会ご出席よろしく御願いたします。

●近藤会員 永見市長様、本日はお忙しいところ卓話においでいただきまして、ありがとうございます。「人を大切にする街のため」に頑張ってください。よろしく御願致します。

●喜連元昭会員 永見市長のご来賀有難うございます。本日の卓話楽しみにしております。

●遠藤久会員 先日は歴代会長さんたちに来ていただいて有りがとうございました。皆さんお行儀よく料理も残さず食べて頂いて、これからもますます元気にご活躍ください。

●SAA委員会(小川会員・稲村会員・岡田会員) 本日永見市長には ご多忙のところ卓話においで頂きありがとうございます。国立市政の移りかわりを細かくお話いただけますよう耳をすまし、じっくり拝聴させていただきます。

●社会奉仕委員会(関俊之会員・北島清高会員) 好天のもと、11月5日に行われました市民祭では、多くの会員の皆様の御協力により無事終了いたしました。ありがとうございます。この後も幾つかの行事が有りますが、引き続き宜しくご協力をお願いいたします。

●親睦活動委員会(長嶋会員・本多会員・三田会員・山岡会員) 国立市の永見市長様の卓話、楽しみに聞かせて頂きます。国立市政にご尽力され、ご苦労様です。宜しく御願致します。

★ニコニコBOX 合計59,000円 累計644,000円

**出席報告**

時田出席奨励委員

11月15日 在籍49名中 出席34名

前々回(11月1日) 出席率 93.62%

**閉会点鐘**

小澤(谷)会長

**卓話**

# 「国立市政の過去・現在・未来」

国立市長 永見 理夫氏



■講師の紹介 近藤プログラム委員長  
永見市長には、本日はご多忙のところをお出でいた

きましてありがとうございます。また会員の皆さまも時間を調整していただき、ご協力ありがとうございました。

きょう、ここにいらっしゃる方々は「永見市長は私たちがつくった」という自負がおありかとおもいます。私たちは市長の味方ですので、共に街づくりに尽力していきたいと思っております。

きょうは「国立市政の過去・現代・未来」というテーマでお話をいただきますが、特にこれからの街づくりのことを話していただけると嬉しいなと思います。

#### ■はじめに

小澤会長はじめロータリークラブの皆さんには日ごろ市政でお世話になっております。この場を借りて御礼申し上げます。

私は昭和49年に市役所に入職しました。ちょうど大学紛争最中の頃でした。私の兄は優秀でT大を出て大学院を卒業、交換留学生としてパリ大学、そして大学院を出て、現在中央大学の教授をしております。

その大学紛争の余波で私はT大受験が出来なかったためW大学へいきました。18歳ごろからロッククライミングをしていまして、大学時代も年130日くらいは山で過ごしていました。

そしてのんびりと国立市役所に入りました。6年ほど経った頃に山に呼ばれ、30日の休みをもらいカナダの未踏地に隊長として登りました。仕事は辞めるつもりでしたが、当時の上司から「休暇でよい」と言われ、今ここにいます。

#### ■国立市政の歴史

私は市役所に入職して歴代の、石塚・谷・佐伯・上原・関口・佐藤と、6名の市長に仕えました。仲間として過ごした佐藤市長が昨年11月16日に亡くなられて、明日が命日になりますので、ご自宅に伺ってお線香をあげさせていただきます。

さて、国立市は昭和42年に市制をひいて、今年で50周年になります。そして今年、八王子市が市政100年を迎えました。式典には私も出席して参りましたが、なんと施行が大正6年です。西暦ですと1917年ですので、ロシア革命があった年でもあります。

関東大震災よりも前ということになり、第2次世界大戦があって、原爆があって、終戦を迎えて戦後があって、そして昭和31年に経済白書で「もはや戦後ではない」といわれ、高度経済発展から東京オリンピックを経て…。そこに結びつけるのはおかしな話ですが国立市の誕生ということになります。

それからの昭和42年以降のことを考えて見ますと、国立市から見るとエポックのような年です。その前の町長は田島さんで、東京都知事は東さんでした。そして昭

和42年になりますと美濃部都知事、国立市は石塚市長になります。

そして54年の谷市長になるまでの12年間は革新市政と言われる時代でした。まさに今の中国を見るようで、公害・住宅開発などの矛盾で、その革新知事時代の最後に私は入職しました。

昭和54年に保守回帰で今の都制度を作った鈴木都知事・谷市長で、昭和60年までが行政改革の時代です。

昭和61年・62年に税収が大幅に伸びました。国立はバブル時代が少し早くやってきていました。この時代にふるさと創生の1億円の不交付団体でしたが、高齢者福祉基金を作りました。非常にユニークな事例でした。今も貴重な財源になっています。

谷さんが昭和54年から12年間保守の市政を築されました。そして昭和60年に第2期の基本構想を作りました。

その前、昭和50年に石塚市長時代に第1期基本構想を作りました。その理念に「人間を大切にする」というものがありましたが、キーワードがいくつかあります。それは経済社会が大きく変動し、その歪みが大きくなっている時代の基本構想ですから、革新思想が盛り込まれています。それが「人間を大切にする」とそれと「文教都市国立」「文化と文明」でした。今思えば当たり前の事ですが、極めて時代背景を色濃く持った基本構想でした。

昭和60年（谷市長）第2期基本構想では「活力ある文化的都市創造」で、『グリーンキャプチャーコミュニティ』というキャッチフレーズをつくりました。

これは、「行革の時代で高齢化が目前にきている」「情報社会がくる」「経済の爆発的な拡大はない」。それであっても「活力ある文化的な街を作っていこう」というものでした。

キーワードは南部地域の開発整備です。第1が駅周辺ですので、第2の開発整備は富士見台にする。そして良好な業務の核を南部地域に整備し、水と緑、そして業務を融合させた国立の街を作る。こんな理念で第2期の基本計画ができました。

そして目出度く佐伯市長にバトンタッチしていきま。その後、大学通りの高層ビルの建築を巡って大きな紛争が起きました。そこで「景観」ということが大きく問われるようになり、景観条例や計画を作ることになりました。

そして上原市政が誕生して明和の問題が起きました。上原市政は全て明和の問題で終始したことになります。なお、明和マンション問題は今月で全て終了いたします。

関口さんの時代はだたひたすら住基ネットに終始しました。任期中は住基ネットを切断したままで、政策的な展開はゼロでした。

それを破ったのが佐藤市長で、「法を守る」「安心安全な街をつくる」「地域の包括ケアを推進して高齢化社会に対応する」ということに邁進してきましたが、道半ばで残念ながら倒れられ、現在があります。

### ■ 国立市の未来を考える

今から100年後を語るのには、人間の想像力を超えているのではないかと思います。50年先はほぼ見えない世界です。キーワードは人口問題（減少・高齢化・子どもの減少）です。30年後は65歳以上の高齢者1人を16歳～64歳までの1.8人で支えることとなります。どう対応していくか単純ではないと考えています。そして人工知能が進んだ社会になると思います。

近い社会の国立を考えると、現在の人口75,000人が、平成72年には60,000人になると見込んでいます。その時代の生産年齢人口が約50%代の前半、子供は11%、高齢者は30%です。

市制を考えていく時に「待機児童の問題」「子供の貧困はどうするんだ」という直面する課題があります。佐藤さんが推し進めてきた「安心・安全なまちづくり」これをどう維持していくのかという課題。「国立駅舎の再築の問題」。あるいは富士見台地域をいかに再生して、昔のような多世代が住める街をつくっていくのかというような中期的な課題。南部地域の良好な生活基盤をどう確保していくのか。今度の都市計画マスタープランの中では南武線の高架化の問題も織り込みながら中長期的な問題にも取り組まなければいけないと思っています。

子育て支援の問題、高齢者が最終ステージまで安心して暮らせる社会をどう作っていくかという課題があります。これらに取り組みながらも、1市だけでは全て整う時代は難しくなっていくと考えられます。

21日に立川市を中心に9市のサミットがあります。課題は「インバウンド」です。オリンピックを一つの目標にして、共同でこの多摩中央地域を世界へ売り込むにはどういう戦略を立てたらいいのだろうか。観光というねらいだけではなく、あらゆる政策局面で共通的に取り上げながら、お互いが交流することの中に、新しい時代を築いていかなければいけない。そんな時代がきていると思っています。

地域包括ケアの問題でも典型的な例として、認知症の日の講演会で、30代で若年認知症を発症した方の講演がありました。その方が「私の夫も若年性認知症です。ついこの間お財布を失くしました。私はお財布を取り上

げた方がいいんじゃないかと思うんですが、先生はどうお考えでしょうか」という質問に「取り上げないでください。その代りそのお財布にチェーンを付けるなりして、落とさない工夫をしてあげてください。それは、認知症の人だって町に出た時にコーヒーを飲みたいんです。その自由を奪わないでください。その自由が確保できるような支援をして差し上げていただきたい。そして自分は認知症だからということが明らかに表明できる社会を将来に向けて作っていただきたい。その時に安心・安全に暮らせる。そしてどこに行っても分からなくなっても、周りの人が支えてくれる。こんな社会を作ってください」と講師の方が仰っていました。

高齢社会がどんどん進んだ時に、周りで支えるということは隔離してしまうのではなくて、活動する権利が守られる。こういう社会を30年掛かって作っていくことなんでしょうと思います。

ですから、国立が繁栄していくために、たとえばインバウンドの戦略を立て、そういう財源を使いながら、ご高齢の方、認知症の方が安心して暮らせるような社会を長い目で作り上げていくということが、市長に与えられた使命なのかと考えております。

そのためには財源がなければいけません。いかにお互いが共通し、なおかつ市内で切磋琢磨して活力を持続けられるかの両面で考えなくてはなりません。

そして子どもの奪い合いの時代になりますから、子育てがし易い環境をどう作っていくのかということ。特に幼児教育の問題。保育の充実は必要ですが、そこに教育をないがしろにすると日本の繁栄が危うくなりますから、幼児期の教育とどのように両立させながらやっていくのか、ということもこれからの課題かと思っています。

未来を語ると明るくないことが多くあります。未来を語る時は希望を語ることで、最近は暗い話が多くなります。それでも昨日JC（日本青年会議所）の人たちと話し合う機会があり、その会員たちは「若さを地域づくりにぶつけたんだ」という意欲を語ってくれました。

これが宝だと思います。「ユースのコミュニティ・タウンミーティングを国立でも開いてもらいたい。その力が各団体と共有できる機会を作ってほしい」と言われました。市制は多方面にわたりますが、若者の力をいかに導入するかということも含めて、頑張っていきたいと思っています。

国立はまだブランド力がありますので、是非皆さんのお力でブランド力を高めていくことをやっていきたいと思っています。よろしく願いいたします。